別表第二号の二第3　固定局の工事設計書の様式（第4条、第12条関係）

（総合通信局長がこの様式に代わるものとして認めた場合は、それによることができる。）

1枚目

工事設計書		
1　無線局の区別		
2　装置の区別	第　　装置	
3　通信方式コード		
4　通信路数		
5　予備の別	□セット予備（　　）　□システム予備	
6　送信機	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	
	定格出力（W）	
	低下させる方法コード	
	低下後の出力（W）	
	変調方式コード	
	クロック周波数（MHz）	
	検定番号	
	適合表示無線設備の番号	
	製造番号	
7　受信機	区別	□送信機と同じ
	通過帯域幅	
	雑音指数（dB）	
	EQLコード	
8　予備電源	□有　□無	
9　設置場所番号		

長辺　短辺　（日本工業規格A列4番）

別表第二号の二第3　固定局の工事設計書の様式（第4条、第12条関係）

1　1枚目

工事設計書

1　無線局の区別　　※　整理番号

2　装置の区別	3　通信方式コード	4　通信路数	5　予備の別	6　送信機									7　受信機			8　予備電源	9　設置場所番号
				発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	定格出力（W）	低下させる方法コード	低下後の出力（W）	変調方式コード	クロック周波数（MHz）	検定番号	技術基準適合証明番号	製造番号	通過帯域幅	雑音指数（dB）	EQLコード		
第　装置			□システム予備 □セット予備 （　　）													□有 □無	

10　空中線系番号	11　空中線															12　給電線等						13　発射する周波数等	14　受信する周波数	15　使用する給電中継装置	16　回線の条件コード
	空中線型式等												空中線の位置			給電線損失		共用器損失		その他損失					
	空中線の型式名	送受の別コード	基本コード	付加コード	偏波面コード	SDコード	SD間隔（m）	海抜高（m）	地上高（m）	利得（dBi）	指向方向（度）	口径（m）	水平面の主輻射の角度の幅（度）	経度	緯度	送信（dB）	受信（dB）	送信（dB）	受信（dB）	送信（dB）	受信（dB）				
（　　）																									
（　　）																									
（　　）																									

17　通信の相手方					18　無給電中継装置				19　無給電中継装置					
自局の空中線系番号	相手方の識別信号	相手方の免許の番号	相手方の装置の区別等		無給電中継装置番号	種類コード	海抜高（m）	地上高（m）	縦径（m）	横径（m）	入反射角（度）	無給電中継装置の位置		設置場所番号
			装置の区別	空中線系番号								経度	緯度	
			第　装置	（　　）										
			第　装置	（　　）										
			第　装置	（　　）										

20　空中線系に関するその他の事項

□　構成が複雑なため記載が困難であり、構成は添付図面のとおりである。

21　全伝送区間の距離（km）

22　附属装置		23　その他の工事設計	24　添付図面	25　同報子局の数	26　屋外受信設備の台数	27　戸別受信機数
コード	記載部	□法第3章に規定する条件に合致する。	□無線設備系統図			
		28　備考				

短辺　長辺　（日本工業規格A列4番）